

理事会が開催されました

◇日 時 5月15日（木）13：00～15：00

◇場 所 （一社）山梨県自動車整備振興会 大講堂

◇出席者 理事 27名、 監事 5名

◇議 題

1) 平成26年度振興会、商工組合、政治連盟の総会提出議案について

[各団体の通常総会提出議案である事業報告、決算報告について要点を説明、総会への提案が承認。
あわせて「公益目的支出計画実施報告」が承認され、総会にて報告。]

2) その他

常任理事会が開催されました

◇日 時 5月8日（木）13：00～16：00

◇場 所 （一社）山梨県自動車整備振興会 役員室

◇出席者 常任理事9名（会長、副会長、支部長会正副会長、事務局理事）

◇協議事項

(1) 理事会、幹事会への提出議案について

[平成26年度振興会、商工組合、政治連盟の総会提出議案について]

(2) その他

◇日 時 5月29日（木）13：00～16：00

◇場 所 （一社）山梨県自動車整備振興会 役員室

◇協議事項

(1) 第63回振興会通常総会、第39回商工組合通常総代会、第34回政治連盟通常総会の対応について

[総会運営内規に伴う総会運営を確認]

(2) 総会・総代会の質問事項について

(3) 平成26年度委員会諮問事項について

[本年度の各委員会取り組み諮問審議を確認]

(4) その他

**第63回振興会通常総会
第39回商工組合通常総代会
第34回政治連盟通常総会が開催されました**

本年度の通常総会並びに総代会が次により開催されました。

◇日 時 5月31日（土） 13：00～
◇場 所 （一社）山梨県自動車整備振興会 大講堂

一般社団法人山梨県自動車整備振興会 第63回通常総会

- 第1号議案 平成25年度事業報告の承認について
- 第2号議案 平成25年度収支決算報告の承認について
(公益目的支出計画実施報告について)
- 第3号議案 その他
- 報告事項 1) 平成26年度事業計画並びに収支予算について
2) その他

山梨県自動車整備商工組合 第39回通常総代会

- 第1号議案 平成25年度事業報告の承認について
- 第2号議案 平成25年度収支決算並びに剰余金処分(案)の承認について
- 第3号議案 総代1名辞任に伴う補選について
- 第4号議案 平成26年度事業計画(案)の承認について
- 第5号議案 平成26年度収支予算計画(案)の承認について
- 第6号議案 平成26年度借入金、貸付金残高及び一組合員に対する貸付金残高の最高限度額
決定について
- 第7号議案 その他

山梨県自動車整備政治連盟 第34回通常総会

- 第1号議案 平成25年（1月～12月）活動報告並びに決算報告の承認について
- 第2号議案 規約の一部改正について
- 第3号議案 年度処理（平成26年1月～3月）について
- 第4号議案 平成26年度（4月～3月）活動計画(案)並びに収支計画(案)の承認について
- 第5号議案 その他

振興会・商工組合・政治連盟の各議案は、いずれも原案どおり承認されました。

ご多忙中、ご出席されました皆様方には慎重なご審議を頂き、厚くお礼申しあげます。

また、平成26年度事業遂行につきまして、会員・組合員の皆様方のご理解とご協力を頂きますよう、お願いします。

**【一般社団法人山梨県自動車整備振興会長
山梨県自動車整備商工組合理事長 萩原公明 挨拶要旨】**

平成26年度通常総会を開催するにあたり、会員皆様に対し、平素の事業運営へのご協力と本日のご出席並びにご来賓の方々のご臨席に対しお礼申し上げます。

さて、昨年の国内経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和策に依り、円安・株価上昇・輸出を後押しし、企業心理や消費者マインドの改善を背景に景気回復の気運が広がりましたが、確実なものとはなっておりません。

一方、自動車の国内販売実績は、年度当初は昨年度に終了したエコカー補助金の効果がなくなった影響から減少が続きましたが、新型車投入の効果、消費税増税前の駆け込み需要により、年度後半は好調に推移しました。

車両販売は、消費税引き上げの影響と駆け込み需要の反動による減少は、夏場頃までは続くものと想定されます。

こうした状況の中、本県では、去る2月の記録的雪害で主要な農産物や果樹生産等、ビニールハウスの倒壊が相次ぎ、県全体の農業・果樹生産に甚大な被害があり、今後の収穫時に大きな影響が出ることが懸念されます。また、整備工場の工場倒壊や建屋等の損傷の被害も43件を数えました。更に、新車や受託車両の動産被害額は甚大なものが認められ、被害事業場には心からお見舞申し上げ、早期に復旧されることをお祈り申し上げます。

自動車整備業界の経営状況は、本年1月に日整連が発表した「平成25年度自動車分解整備業実態調査結果」の概要によると、総整備売上高は2年ぶりに増加し、前年度比2.3%増の5兆4,217億円となりました。

整備事業を取り巻く環境は、自動車ユーザーの使用形態の変化により、長期使用車が増える傾向にあり、適切な保守整備、とりわけ定期点検がより重要となる一方、ハイブリッド車、EV車に加え、燃費の良い小型車、軽自動車や衝突被害軽減ブレーキシステムを装備した先進環境対応車の需要が増加しています。こうした先進技術に対応する電子整備技術の習得と技術者の人材育成が業界の最重要課題と申しても過言ではありません。

本年も車の安全確保と公害防止、法令遵守等、整備業界に課せられた社会的使命を再認識し、取り組んで参ります。

「自動車整備業のビジョンⅡ—転換期に立つこれからの自動車整備業のあり方—」の提言の冒頭にありますように、21世紀という節目を迎え、「制度に守られた業界、保護された時代」から「競争を前提にした業界、時代」への転換を新たなキーワードに「整備事業場は健全な危機感を持ち、真のサービス業、オアシス事業場へ変身すべきである」というメッセージが掲げされました。

それから12年が経過した今、「環境変化に的確に対応しないと生き残れない時代」になっています。

それまでの「競争を前提にした業界」から「顧客に選ばれるように進化を遂げる業界」が求められています。厳しい状況にあっても、事業経営者が何を考え、どのように行動を起こすのかが生き残る重要なポイントと提言されております。本年も時代認識を新たにして、前進して参りたいと思います。

結びに、関係ご当局、関係機関の変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げ、ご臨席の皆様方の益々のご健勝、ご活躍、そして一層の業界の発展を祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

【関東運輸局自動車技術安全部長 佐橋真人 様 祝辞要旨】

本日は通常総会お招き頂き、ありがとうございます。

今月、アメリカ、ワシントンに滞在しましたが、ハイウェイで1日に2~3台の故障車をよく見かけました。日本ではほとんど見られない光景であり、日本ではしっかりとメンテナンスが行き届いていることを痛感しました。



整備事業制度を皆様の日頃のご努力のお陰で、車の安心安全が確保されていると思います。
過剰に整備されているのではとのユーザー意識もあるようですが、是非とも、車の状態をユーザーにしっかりと伝えて頂き、安心安全を確保されるようユーザーとの対話をお願いします。

さらに自動ブレーキ装置等の新技術について、その仕組みや活用方法等も十分に伝えてご理解を頂くようお願いします。

最近の景気動向については、緩やかな回復基調が続いているが、このところ弱い動きも見られると言われ、整備業界で見れば、昨年4月の全国の継続検査台数174万台に対し、本年4月は140万台と8割程度であり、東日本大震災やリーマンショックの影響があるのかと思われます。

整備士不足の問題が顕著になっております。整備専門学校の生徒数も10年前に比較して半減している現状から、国土交通省では、整備業界のご協力も頂きながら高等学校を訪問し、自動車整備の仕事における将来をPRし、働き掛けを行うこととしています。

関東運輸局も皆様方と一緒に安全安心な車社会をつくっていきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いします。



【山梨県産業労働部次長 平井敏男 様 祝辞要旨】

通常総会並びに総代会が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

また、役員並びに会員皆様にはこの活動を通じまして本県経済の発展に多大の尽力を賜り、お礼申し上げます。

本県はどこに行くのにも車が必要な車社会であり、ほぼ県民1人に1台の保有台数あります。

本年2月、未曾有の大雪では、車社会の脆弱さを改めて目の当たりにし、インフラ整備の大切さを実感しました。



車社会を支えるのは車の安全安心の確保であり、皆様方の日々の仕事が極めて重要であります。

最近のハイブリット車を始めEV車が普及しており、山梨県でも山梨大学と連携して燃料電池関連産業に取り組んでいます。

時代の進展に合わせまして皆様方にもこの新技術の向上に取り組んで頂けますよう、よろしくお願い致します。

また、総会に先がけ各種表彰式が行われました。受賞された方々は次のとおりです。

おめでとうございました。（敬称略）

(一社)山梨県自動車整備振興会長表彰 27名

伊藤 太郎	関東三菱自動車販売(株)甲府店	長澤 敦	山梨スバル自動車(株)甲府富士見通り店
島田 哲男	山梨ダイハツ販売(株)	雨宮 洋一	山梨日野自動車(株)田富(営)
田中 清志	関東三菱自動車販売(株)甲府店	荒井 正彦	(有)オートガラージュ ガルダ
早川 雄一	山梨ダイハツ販売(株)	川手 省二	タフ モータース
今村 直哉	トヨタカローラ山梨(株)甲府東店	小林 悟	山梨スズキ販売(株)とよみセンター
山本 裕	山梨日野自動車(株)本社	天野 久一	天野自動車整備工場
白井 信久	山梨トヨペット(株)本店	井之上 浩司	トヨタカローラ山梨(株)峡東店
齋藤 純	(有)斎藤自動車工場	志村 嘉章	ボデーショップナカムラ
手塚 健太朗	山梨トヨタ自動車(株)甲府アルプス通り店	飼原 勲	山梨トヨタ自動車(株)富士吉田店

小清水 定一 関東三菱自動車販売(株)竜王店
向山 弘生 トヨタカローラ山梨(株)甲府店
田中 工人 山梨トヨタ自動車(株)甲府マイカーセンター
望月 隆之 甲斐日産自動車(株)本社工場
清水 浩司 山梨スバル自動車(株)甲府富士見通り店

武藤 稔 トヨタカローラ山梨(株)吉田店
白須 和彦 山梨トヨタ自動車(株)都留店
武藤 弘 山梨トヨタ自動車(株)都留店
奥野 雄次 山梨ダイハツ販売(株)都留店

(一社)日本自動車整備振興会連合会長表彰 60名

梶原 義雄	(株)しんわ興業	乙黒 憲一	山梨トヨタ自動車(株)山梨日川店
堀内 稔	(株)渡文商会	小俣 勇治	ネッツトヨタ甲斐(株)都留店
渡辺 諭	東信自動車整備工場	武田 龍善	レクサス甲府
杉山 靖	山梨ダイハツ販売(株)	久保 晃利	山梨トヨタ自動車(株)増穂店
佐藤 正光	古久屋自動車	樋口 浩二	山梨トヨタ自動車(株)八田センター
廣瀬 廣	広瀬自動車興業 牧丘工場	小澤 正樹	ネッツトヨタ甲斐(株)若草店
太田 博之	世志自動車整備工場	手塚 昌宏	山梨トヨタ自動車(株)昭和バイパス店
瀬田 亮	山梨スズキ販売(株)サービスセンター	雨宮 光司	山梨トヨタ自動車(株)甲府バイパス小瀬店
土屋 拓也	峡東ホンダサービス	大村 和也	(株)宮本自動車
廣瀬 幸司	(有)廣瀬自動車興業	山本 邦彦	トヨタカローラ山梨(株)昭和店
角田 一寿	Honda Gloss山梨 甲府センター	塩入 一明	ネッツトヨタ甲斐(株)都留店
奥野 亮治	ネッツトヨタ甲斐(株)本社甲府店	佐藤 剛	山梨トヨタ自動車(株)昭和バイパス店
渡邊 文男	(株)渡文商会	山下 幸二	(有)山和
古屋 博幸	日産プリンス山梨販売(株)増穂インター店	福島 丈	ネッツトヨタ甲斐(株)若草店
伊丹 三千雄	(有)内川自動車工業	落合 俊雄	日産プリンス山梨販売(株)増穂インター店
町田 順一	町田自動車商会	高野 秀二	甲斐日産自動車(株)南アルプス南湖店
山中 洋	ネッツトヨタ甲斐(株)本社甲府店	樋 輝昭	ネッツトヨタ甲斐(株)ビステージ
秦 憲司	関東三菱自動車販売(株)河口湖店	小林 宏司	(株)カネキ自動車
猪又 正憲	ネッツトヨタ甲斐(株)垂崎店	金原 真二	山梨トヨペット(株)竜王店
佐野 敏紀	塩山車検センター協同組合	広瀬 義樹	南ホンダ(株)
佐藤 慎也	(有)初鹿野オートサービス	野田 康美	トヨタカローラ山梨(株)峡南店
石原 豊史郎	甲斐日産自動車(株)本社工場	小林 学	石井自動車整備工場
飯窪 哲也	新海自動車	山下 進	事務局職員
内藤 克教	日産プリンス山梨販売(株)須玉インター店	落合 達也	事務局職員
福田 幸延	福田オート	猪股 美香	事務局職員
宮下 隆	日産プリンス山梨販売(株)富士吉田店	塩島 博夫	事務局職員
樋 道夫	日産プリンス山梨販売(株)サービスセンター	名取 伸也	事務局職員
飯田 文彦	リペアステーションキンロク工場	飯島 学	事務局職員
古屋 憲一	トヨタカローラ山梨(株)峡東店	輿水 大樹	事務局職員
樋川 宣雄	福田オート	守澤 加奈	事務局職員

山梨県知事 優良従業員表彰 7名

村松 博之 玄坂カークリニック(有)
有泉 敏男 (株)甲信マツダ 美術館前店
内田 真也 内田自動車整備工場
秋山 貴志 山梨トヨタ自動車(株)Volkswagen甲府東
小俣 孝彦 ネッツトヨタ山梨(株)河口湖店
高野 秀二 甲斐日産自動車(株)南アルプス南湖店
向山 孝二 山梨トヨペット(株)国母店

山梨県中小企業労務改善団体連合会長 優良従業員表彰 29名

篠原 正男	(株)甲信マツダ 国母店	飯寄 尚	関東三菱自動車販売(株)河口湖店
河野 一夫	山梨日野自動車(株)本社	飯島 誠	山梨トヨペット(株)増穂店
田中 守	甲斐日産自動車(株)バイパス一宮店	森川 力	山梨日野自動車(株)田富(営)
大島 守	山梨自動車産業(株)	加々美 和宏	ネッツトヨタ甲斐(株)竜王店
米山 雅人	トヨタカローラ山梨(株)甲府店	平井 徳寿	山梨トヨタ自動車(株)山梨日川店
星合 敦	ネッツトヨタ山梨(株)U-Carセンター和戸	今村 淳一	山梨スズキ販売(株)サービスセンター
上原 勝吉	碓井自動車(株)	秋山 広幸	(株)甲信マツダ 富士吉田店
小池 和幸	山梨トヨタ自動車(株)韮崎店	辻 浩明	南ホンダ(株)
萩原 幸二	トヨタカローラ山梨(株)昭和店	八巻 国広	山梨日野自動車(株)田富(営)
松井 良浩	トヨタカローラ山梨(株)峡東店	小尾 啓太	山梨日野自動車(株)本社
三浦 将一	トヨタカローラ山梨(株)吉田店	大房 孝彰	甲斐日産自動車(株)大月店
藤原 宗一郎	(株)甲信マツダ 国母店	関野 伸彦	山梨スズキ販売(株)富士吉田(営)
石川 卓也	山梨トヨタ自動車(株)増穂店	松木 一浩	山梨スズキ販売(株)サービスセンター
三浦 永治	三浦自動車整備工場	小山田 謙太郎	ネッツトヨタ山梨(株)都留店
勝俣 保洋	山梨トヨタ自動車(株)Volkswagen甲府		

通常総会議案誤記載についてのお詫びと訂正のお願い

先に会員皆様に送付しました《第63回通常総会議案》の記載に一部誤りがありましたことを深くお詫び申し上げます。

該当箇所は下記のとおりですので、新たに37~39ページを差し替え及び訂正をよろしくお願い致します。

1. 37ページ「公益目的支出計画実施報告について（抜粋）」追加部分は下線

- ① 公益目的事業の遂行年数「9力年」を追加
- ② 「今年度の公益目的支出収支差額は、45,122,602円となりました。」を追加
- ③ 「平成25年度の公益目的支出計画実施報告書の抜粋は、以下の通りです。」を追加
- ④ 1. 公益目的実施事業項目【継続1】項目欄に「(1)点検整備の促進」を追加

2. 38ページ(2)経常費用項目

- ① №.46・60 業界活性化対策費、№.52・61 減価償却費が重複して記載
- ② 38~39ページ「正味財産増減計算書内訳表」の各勘定科目番号が一部変更
なお、合計計算値には誤りはありません。

公益目的支出計画実施報告について（抜粋）

- ・平成25年4月、公益目的支出計画書を山梨県に申請し、一般社団法人へ移行しました。
- ・公益目的支出計画に伴う公益的な継続事業として 点検整備の推進事業等の指導事業は主に【継続1】
整備技術向上のための研修等の教育事業は主に【継続2】
- ・申請にあたり、移行時の正味財産額を公益目的財産額(概ね5億2千万円)として、上記の継続事業を実施するのに必要とする経費(平成24年度事業予算額)が何ヶ年分に相当するかを試算しました。
- ・その結果、この継続事業に関わる人件費や事務費を含み概ね5,800万円とし、公益目的事業の遂行年数は9ヵ年となりました。
- ・今後は、事業年度毎に実施報告書を作成し、監査、理事会の承認と通常総会の報告を経て、山梨県に報告することとなります。
- ・今年度の公益目的支出収支差額は、45,122,602円となりました。
- ・平成25年度の公益目的支出計画実施報告書の抜粋は、以下の通りです。

1. 公益目的実施事業

【継続1】自動車使用者の保守管理意識の醸成と自動車分解整備事業等に関する指導相談事業（P.40～43参照）

(1) 点検整備の促進

- 1) ラジオCM、JAFMETE誌による広報
定期点検整備実施済みステッカーの貼付
- 2) 点検整備推進イベント(点検整備推進デー)開催
各種イベントへの参加による呼び掛け
・竜南エコフェスタ・つる産業まつり・山梨県技能まつり・軽自動車まつり他

(2) 交通安全、環境保全

- 1) 子ども110番のお店の周知とマップの作成配付
- 2) 街頭検査への協力

(3) 相談指導事業

- 1) 自動車整備相談窓口の開設

【継続2】自動車整備技術の向上対策事業（P.44～45参照）

(1) 自動車整備技術の向上に関する研修会の開催

- 1) 整備主任者(技術)研修 (年14回 受講者数592名)
- 2) 自動車検査員研修 (年4回 受講者数805名)
- 3) CNG自動車講習会 (年1回 受講者数10名)
- 4) ハイブリット車整備基礎講習会 (年1回 受講者数6名)
- 5) STEP UP講習会 (年1回 受講者数6名)
- 6) 低圧電気取扱特別講習会 (年2回 受講者数52名)
- 7) 小型ジーゼル車整備講習会 (年1回 受講者数6名)
- 8) スキヤンツール研修会 (年5回 受講者数61名)

(2) 自動車整備技術に関する相談・助言

- 1) 技術相談窓口の設置
- 2) 「会報」及び「整備技術情報」等を毎月全工場に配布、更にホームページを活用した情報の提供

(3) 自動車整備士二種養成施設の管理と運営

- 1) 講習期間 平成25年5月～平成26年3月
・2級ガソリン講習(受講者数19名)・3級ガソリン講習(受講者数30名)

(4) 自動車整備技能登録試験の実施、国が行う自動車整備検定試験への協力

(5) 自動車整備技能競技大会の開催と成績優秀者の表彰

- 1) 第19回全日本自動車整備技能競技大会の出場向けた練習・指導

2. 実施事業に係る平成25年度公益目的収支差額

(単位:円)

項目	申請時計画	平成25年度実績	参考
公益目的財産額 (平成25年度期首の正味財産額)	519,425,924	519,425,924	(P.36) 94 (P.39) 99
公益目的収支差額(1)－(2) (実績:平成25年度継続事業に係る収支差額)	58,647,626	45,122,602	(P.36) 87 (P.39) 93
公益目的支出の額(1) (実績:平成25年度継続事業に係る費用)	72,986,626	59,034,281	(P.36) 86 (P.39) 92
実施事業収入の額(2) (実績:平成25年度継続事業に係る収益)	14,339,000	13,911,679	(P.36) 85 (P.38) 24
当該事業年度末日の公益目的財産残額 (実績 平成25年度末公益目的財産額残高)	460,778,298	474,303,322	

AMS山梨青年部の活動について

AC委員会の開催

- ◇日 時 5月8日（木）19：30～21：30
- ◇場 所 山梨市 あぶり屋
- ◇出席者 東八、日下部、塩山支部青年部運営委員他 10名
- ◇審議内容
 - ・第2回ガレージミーティングについて

対外活動委員会の開催

- ◇日 時 5月13日（火）19：30～22：00
- ◇場 所 身延町 永泰
- ◇出席者 市川、南巨摩南、南巨摩北支部青年部運営委員他 7名
- ◇審議内容
 - ・ユーザー点検教室について
(今年度、実施可能エリアを検討)
 - ・青年部対外活動について
(富士山クリーン作戦の是非、また、他ボランティア活動を検討)

リサーチ委員会の開催

- ◇日 時 5月28日（水）19：30～22：30
- ◇場 所 都留市 まあと
- ◇出席者 岳麓、大月、都留、上野原支部青年部運営委員他 9名
- ◇審議内容
 - ・昨年度の活動報告および今後の活動について

第2回ガレージミーティングが開催されました～！！

5月18日（日）10時から振興会駐車場において、各支部より部品・工具・用品など持ち寄りフリーマーケットを通じ、青年部員間の交流と情報交換の場とするガレージミーティングを開催しました。 当日は、天候にも恵まれ約144名の青年部員・会員他が来場し、工具・ケミカル商品メーカーの出展・新実習場の説明もあり、また、メロンパンや富士宮焼きそばの屋台販売など、楽しいイベントとなりました。そして、今回の反省・意見を基に、次回もより良いイベントになることと思われます。



セーフティードライブ・チャレンジ123参加チーム募集について

本年度も、無事故・無違反に5人1チームで挑戦する「セーフティードライブ・チャレンジ123」が開催されます。

支部チーム毎に参加しますので、皆様のチャレンジをお待ちしております。

- ◇実施期間 7月21日（月）～11月20日（木）の123日間
- ◇応募資格 運転免許証（国内免許）を持つ県内在住又は県内在勤者
- ◇申込方法 申込用紙を6月20日（金）までに各支部を通じて総務課までご提出下さい。
(参加料は本会で負担します)
- ◇問い合わせ 総務課（TEL 055-262-4422）まで

今年度の目標

【平成25年度の参加結果】

〔全 体〕

参加チーム数 7,330チーム
(内達成チーム数 6,089チーム 達成率 83.1%)

〔振興会〕

参加チーム数 97チーム
(内達成チーム数 79チーム 達成率 81.4%)

違反は15件あり、**シートベルト不着用（5件）、
携帯電話使用（5件）等でした。**

いずれも日常の心がけでなくすことが可能であり、この結果をチャレンジ目標として本年度も参加します。

携帯電話使用禁止



シートベルトの着用

